

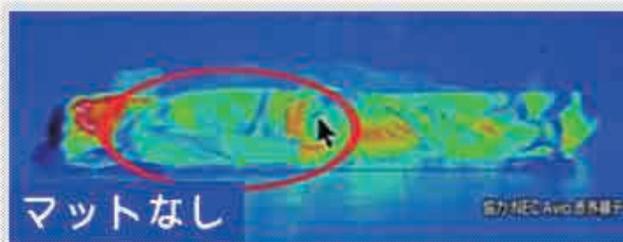
簡便エアーマット

まくら機能有り

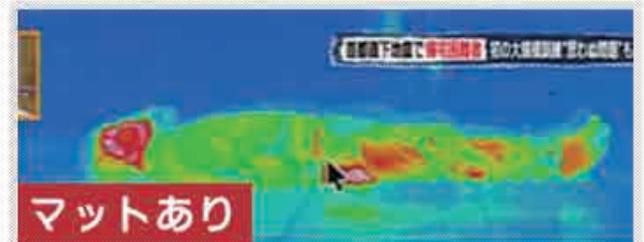
1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において、避難所で生活をされている方々からの切実な声のもとに、簡便エアーマット「安眠まもるくん」の開発が始まりました。東日本大震災時には、4,200名の避難所での生活を余儀なくされておられる被災者の方々に提供させていただき、快適な「安眠」をしていただけるようになりました。皆様からは「よく眠れるようになった!」「疲れがたまりにくくなった!」「暖かくなった!」などの声をたくさんいただきました。

体温のサーモグラフィ

マットなし



マットあり



こんなに違います。自分の体温がマットの中の空気を暖めるのでマットに寝ると暖かいのです。

<製品の概要>

- ・日本製のプロダクト
- ・公的機関に於いて、300kgの耐荷重24時間テストに合格のお墨付き
- ・企業の帰宅困難者の備蓄用としても、多数の企業・自治体等で採用されている実績を持つロングセラーの商品

<製品の活用場面>

震災が起こった際には、停電になっているケースが想定され、オフィスに残された社員やオフィスを訪問しているお客様等は、必然的にオフィスの中で夜を過ごすことになり、冷たく硬い床の上で寝ることになります。東日本震災時に被災者の声で強くあったのが、「床にはダンボールや毛布を敷いても、寒くて、背中が痛くて寝ることさえできない。たださえ肉体的・精神的に疲弊しているのに、睡眠が取れない事が一番辛い」というものでした。

そのような問題を解決するものが、弊社・簡便エアーマットであり、実際に、東日本大震災時には避難所の被災者数千名に提供されました。

使用時には、同封のストローを通じて膨らませることになりますが、空気ポンプを活用すれば更に簡単に膨らませる事ができます。エアーマットは空気層なので冷たい床の熱を遮断し、体温の熱をエアーマット内に保つので暖かく過ごすことができます。また、空気層のマットなので、クッション性が高く適度に柔らかいので寝心地も良いのが特徴です。

まさに、災害時の必需品と言えます。

また、メガバンク(2行)様が全支店での備蓄用として採用くださったり、空港での備蓄用、更には官公庁の備蓄用としても多数から採用を頂いております。

「一般財団法人東京私立中学高等学校協会」に於いても、学校の備蓄用として正式に推薦を頂いているなどさまざまな団体・機関で圧倒的な支持を頂いているものと確信しております。

他社も類似した製品を販売されているかと思いますが、実際の所、製造の大元のメーカーは弊社となります。

よって、最終的に納品価格等の条件を鑑みると、間違いなく弊社の製品こそ競争力があるものと考えております。

防災用品メーカー

ダンキ合同会社 / エコロヴィーバルーン合同会社